

Q. 受験生にとって夏休みは天王山？

しかし、その前提としなければならぬことは「なぜ大学に行き、何を表現したいのか」という明確な目標と「絶対この大学に入学する」という固い意志で



高校生たちでにぎわう「大学進学フェスタ2010」＝パシフィコ横浜

よう。夏はまず1年分を解いて志望大学の問題傾向をつかむことです。問題量の多さで受験生に敬遠されがちな上智大学ですが、過去問を解くと次のようなことがわかります。英語長文読解は英文量が圧倒的に多いので「速読力」が求められますが、出典が比較的現代的なものが多く、難解な言葉が出題されることはあまりありません。(このように大学や学部による特徴をつかめばその対策はおのずかと立てられます。

今週のポイント

- ・ある程度の学習量の確保と効率の良い学習
- ・センター試験の過去問は、試験時間の約8割で解こう
- ・明確な目標と「絶対この大学に入学する」という固い意志
- ・オープンキャンパスに参加を

まとまった勉強時間を確保できる長い夏休みも、そろそろ終盤に近づき、2012年センター試験まで残り5カ月を切りました。受験生の皆さんは計画通りに勉強は進んだでしょうか？ 当予備校に通う高校3年生は、この夏は少ない人で1日8時間、多い人は12時間の勉強をしています。「受験勉強は量と質」といわれますが、ある程度の学習量の確保と志望大学に沿った効率の良い学習が重要です。受験生は夏休みが天王山、8月後半のこの時期に終わらせておくべき学習をお話しします。

まずはセンター試験対策です。問題数が多いので時間配分に気をつけることが大切です。科目にもよりますが、実際の試験時間の約8割で解くことを心がけ、過去問題を最低10年分は解いておきましょう。国公立のみならず、最近ではほとんどの私立大学でセンター試験の複線入試がありますし、難関私立大学であっても基礎学力が高いほど合格率が高い傾向があります。次に大学別対策です。入試本番までに志望大学・学部の個別入試の過去問題を最低でも10年分は解きましょう。

ステップアップ!!

〈高校生編〉

A. その通り! 最後の詰めはコレ